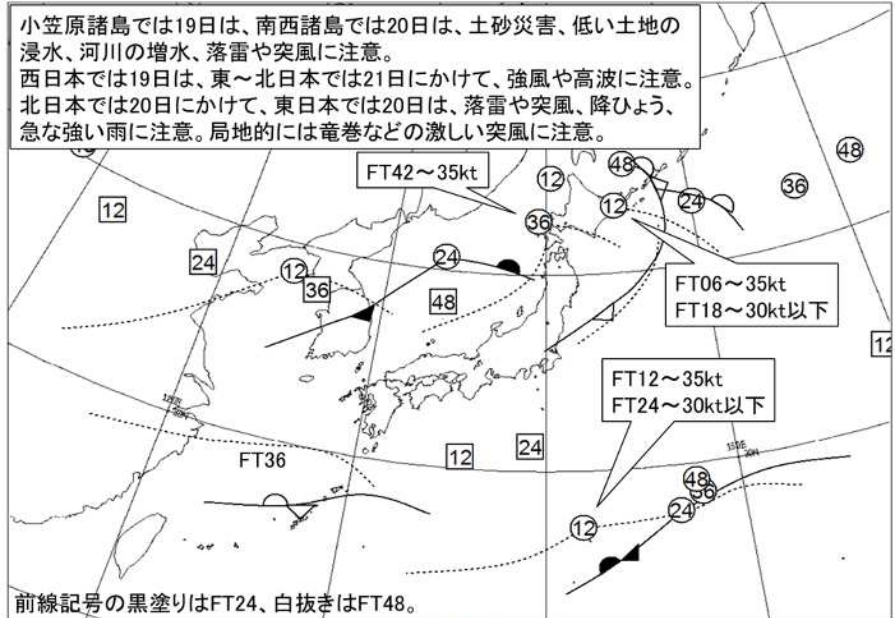


1. 実況上の着目点

- ① 500hPa5580m付近の -21°C 以下の寒気を伴うトラフに対応する前線を伴った低気圧が日本海北部にあって、東北東進。前線が北日本を通過中。前線や低気圧近傍では発雷を検知し1時間に20mm前後の強い雨を解析。また、前線や低気圧の周辺では気圧の傾きが大きくなっており、やや強い風や強い風が吹き、波が高くなっている所がある。
- ② 前線が沖縄の南から小笠原諸島近海にのび、日本の南の前線上には低気圧があって、東進。
- ③ 衛星画像（ダスト画像）では、黄海を中心に黄砂が確認できる。



主要じょう乱解説図

- ④ 衛星画像（ダスト画像）では、黄海を中心に黄砂が確認できる。

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の低気圧は、19日夜には千島近海に進む。また、19日朝までに黄海で前線を伴った低気圧が発生し東北東進、20日夜にはオホーツク海に進む。前線や低気圧に向かって850hPa θe 318K以上の下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となり強い雨の降る所がある。北日本では20日にかけて、東日本では20日は、落雷や突風、降ひょう、急な強い雨に注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項②の低気圧は、20日にかけて小笠原諸島近海を東北東進する。前線や低気圧に向かって850hPa θe 336K以上の下層暖湿気が流入し、大気の状態が不安定となり雷を伴い激しい雨が降り大雨となる所がある。小笠原諸島では19日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。
- ③ 20日朝までに華中から東シナ海に前線が顕在化し、20日には日本の南にのびる。前線に向かって850hPa θe 336K以上の下層暖湿気が流入し、雷を伴い激しい雨が降り大雨となる所がある。南西諸島では20日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風に注意。
- ④ 2項①の前線や低気圧の周辺では気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、波が高くなる所がある。西日本では19日は、東~北日本では21日にかけて、強風や高波に注意。また、前線や低気圧に向かい下層暖気が流入し、東日本では19日は最高気温が 30°C 以上の真夏日になる所がある。体調管理に留意。雪解けが進むため、東~北日本の積雪の多い所では21日にかけて、なだれや融雪に注意。
- ⑤ 西~東日本では19日は、黄砂が飛来する可能性があるため留意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 波浪(明日まで)：北海道・東北3m。

5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。